科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーションⅠ	2	１年・１類	必修

授業担当者	教科書名	副教材等
*********	BIG DIPPER English Communication Ⅰ （数研出版）	ベーシックノート（数研出版） 必携英単語 Leap Basic （数研出版）

科目の到達目標
【Reading】　簡単な説明文を理解することや、図や表から情報を得ることが出来る。
【Listening】日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することが出来る。
【Writing】　興味関心のあることについて簡単な文章で書くことが出来る。
【Speaking】興味関心のあることについて自分の考えを述べることが出来る。

評価の観点と方法について
定期考査　８０％以上。　その他の平常点２０％以内。
平常点は、授業態度、提出物、小テストなどを勘案するものとする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4 5 6 7	Lesson 1 中間考査 Lesson 2 Lesson 3 期末考査	○朝食の大切さ，理想的な朝食について考える ○町おこしのキャラクターの役割について考える ○2つのタイプのリーダーシップについて考える	○過去形・現在形・未来を表す表現／現在完了／現在進行形／命令文(レシピ) ○文型①〈SVC〉〈SVO〉／不定詞〈to＋動詞の原形〉／動名詞 ○受動態〈be 動詞＋過去分詞〉／関係代名詞 who・which・that／文型②〈SVOO〉〈SVOC〉	○単語を覚えているか【テスト】 ○内容理解できているか【発表】 ○積極的に活動しているか【観察】 ○理解できているか【テスト】 ○自分の意見を言えているか【観察・態度】
夏休み		Lesson 4	○新旧いろいろなスポーツの歴史と魅力を知る	○最上級〈the＋最上級〉／比較級〈比較級＋than～〉／原級〈as＋原級＋as～〉	○提出課題にしっかりと取り組んでいるか

	月	学習単元・項目	学習のねらい		評価のポイント
二学期	9	Lesson 5	○芸術の世界にまで進出する AI[人工知能]について考える	○名詞を修飾する分詞／形式主語〈It is ～ that ....〉／形式主語〈It is ～ (for A) to do ....〉	○単語を覚えているか【テスト】 ○内容理解できているか【発表】
		Lesson 6	○世界の人々の「幸福度」の違いについて知る	○過去完了〈had＋過去分詞〉／関係副詞 where／関係副詞 when	○積極的に活動しているか【観察】
	10	中間考査			○理解できているか【テスト】
		Lesson 7	○人気の観光地が抱える問題について考える	○SVOC（V＝知覚動詞・使役動詞, C＝原形不定詞）／SVO＋to 不定詞／SVOC（V＝知覚動詞, C＝現在分詞）	○自分の意見を言えているか【観察・態度】
	11	Lesson 8	○世界的な特殊メイクアップアーティスト Kazu Hiro について知る	○関係副詞 how／関係代名詞 what／関係副詞 why／強調構文〈It is[was] ～ that ....〉	
	12	期末考査			
冬休み					
三学期	1	Lesson 9	○ゴミの再利用の新しい形「アップサイクル」について考える	○つなぎ表現／分詞構文①「～するとき」／間接疑問文／現在完了進行形〈have [has] been ～ing〉	○単語を覚えているか【テスト】 ○内容理解できているか【発表】
	2	Lesson 10	○日本の会社における雇用の多様性について考える	○仮定法過去／分詞構文②「～して, そして…」／過去の習慣 would／助動詞＋be＋過去分詞	○積極的に活動しているか【観察】
	3	学年末考査			○理解できているか【テスト】 ○自分の意見を言えているか【観察・態度】

その他 （ 履修上の留意点・大学等進学のための学習など ）

日々の予習、復習を大切にして下さい。

授業中に課された課題に、地道にコツコツと取り組んで下さい。

この１年間、ゆるぎない英語力を定着させるための土台づくりに励みましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現Ⅰ	3	１年１類	必修

授業担当者	教科書名	副教材等
*********	Vision Quest English Logic and Expression	Vision Quest workbook / Ultimate / Ultimate 基本文例集

科目の到達目標
「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して，コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに，論理の構成や展開を考察することで，情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

評価の観点と方法について
習熟度を測ることはもちろん、生徒個々の努力も十分に評価する。
定期考査に加え、平常点を加味して評価する。
平常点は、宿題・提出物の内容、小テスト、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 1 文の種類	さまざまな疑問文、や命令文、感嘆文を適切に作りそれに応答することができる。	・各単元の文法事項の確認をし、でてきた表現を使い実際にペアワークをすることで、理解を深め、定着を図る。	集中して授業に参加しているか、意欲的に授業に参加しているかをチェックする。
	5	中間考査 Lesson 2 文型と動詞	５つの文型と There is の構文を理解し、文を組み立てることができる。	・ALT との授業でネイティブの英語を実際に聞き、活動する中でコミュニケーション力を培う。	各単元がどの程度理解できているかをチェックする。 宿題、課題の提出状況をチェックする。
	6	Lesson 3 時制	基本的な時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて書いたり話したりすることができる。		
	7	期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二学期	9	Lesson 4 完了形	現在・過去・未来完了形の概念を理解し，それぞれの用法を区別することができる。		
		Lesson 5 助動詞	助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し，適切に使い分けて表現することができる。		
	１０	中間考査			
		Lesson 6 受動態	受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し，必要に応じて使い分け，適切に伝えることができる。		
	１１	Lesson 7 不定詞	不定詞の様々な用法を学び，より詳細な情報を伝えることができる。		
	１２	期末考査			
三学期	1	Lesson 8 動名詞	動名詞の様々な用法を学び，動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。		
	2	Lesson 9 分詞	名詞を修飾する用法や補語になる用法，また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。		
	3	学年末考査			

その他 （ 履修上の留意点・大学等進学のための学習など ）
英語を学ぶ上で基本となる文法事項を学び、そのうえで学んだことをアウトプットすることで、定着を図っていきます。１年生の学習が高校英語の土台となります。授業後はしっかりと復習をし、わからないところをそのままにしないようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーション　I	４	１年・２類	必修

授業担当者	教科書名	副教材等
*********	**BLUE MARBLE**（数研出版）	ユメタン０,１（アルク） **BLUE MARBLE** ワークブック

科目の到達目標
英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

評価の観点と方法について
定期考査７０％以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の確認テスト、授業中の態度を考慮して３０％以内とする。

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一学期	4 5 6 7	**Lesson1** **Friendships in the Digital Age** **Lesson2** **Expos: Past, Present, and Future** 中間テスト **Lesson3** **The Fascinating World of a Professional Storyteller** **Lesson4** **Changing Behavior in Unique ways** 期末テスト	**input** した英文を **intake** することを目指す。内容を理解した英文をしっかり暗記していくことで、**output** できる表現を増やしていく。	授業中は **T/F**、**part** 内の重要構文を中心に解説を進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	リスニングの試験において大切なことは、その音を聞いて、瞬時にその単語の意味を理解できるということである。まずはユメタン０を用いて、基礎的な単語を通して、リスニングの基礎を養成する。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションを目指す。まずはユメタン０を用いて、毎時間１００語ずつクイック レスポンスを行う。

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二学期	9 10 11 12	**Lesson5** **A Journey to Peace** **Lesson6** **Humans Evolve with Measurements** 中間テスト **Lesson7** **Bio-logging: Discovering Animals' Secrets** **Lesson8** **What to Do with Too Many Tourists** 期末テスト				
三学期	1 2 3	**Lesson9** **Surviving in the Information Age** **Lesson10** **The Spirit of Zen: Less Is More** 学年末考査				

その他　(　履修上の留意点・大学等進学のための学習など　)

　復習を大切にする。授業中に課された課題（ユメタンのクイックレスポンス、小テスト、本文音読・暗唱など）に取り組む。この１年間しっかり土台作りを頑張りましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理・表現 Ⅰ	3	1年・2類	必修

授業担当者	教科書名	副教材等
*********	EARTHRISE（数研出版）	チャート式 EARTHRISE（数研出版） 33EARTHRISE 問題集（数研出版）

科目の到達目標
英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。

評価の観点と方法について
定期考査は 70%以上、平常点は 30%以下として評価する。
平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4 5 6 7	Lesson0～2 文の組み立て方 Lesson3～6 動詞と時の表し方 中間考査 Lesson7～9 助動詞 Lesson10～11 受動態 Lesson12～15 不定詞 期末考査	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。 間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。 授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。 小テストの取り組みや宿題の提出状況をチェックする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二学期	9 10 11 12	Lesson16～17 動名詞 Lesson18～20 分詞 中間考査 Lesson21～24 関係詞 Lesson25～27 比較 期末考査			
三学期	1 2 3	Lesson27 続き Lesson28～29 仮定法 Lesson30 以降 （進度を見ながら） 学年末考査			

その他 （ 履修上の留意点・大学等進学のための学習など ）

大学入試問題の中で、正答率が５０％の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。２人に１人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率５０％の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校１年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかにこの１年間の土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張っていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーションⅠ	4	1年・3類	必修

授業担当者	教科書名	副教材
*********	BIG DIPPER Communication I	Vision Quest 新高校英語入門 LEAP Basic

科目の到達目標
【Reading】 簡単な説明文を理解することや、図や表から情報を得ることができる。
【Listening】日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。
【Writing】 興味関心のあることについて簡単な文章を書くことができる。
【Speaking】日常生活での簡単な用を足すことや、興味・関心のあることについて自分の考えを述べることができる。

評価の観点と方法について
習熟度を測ることはもちろん、生徒個々の努力も十分に評価する。定期考査に加え、平常点を加味して評価する。平常点は、授業態度、宿題・提出物、小テスト等に基づいて算出する。

nit	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4 5 6 7	新高校英語入門 Unit1 文の種類 Unit2 文型と動詞 Unit3 時制① Unit4 時制② 中間考査 Unit5 現在完了 Unit6 助動詞 Unit7 受動態 Unit8 不定詞① Unit9 不定詞②／動名詞 期末考査	○基礎からの英文法の総復習を図る ○英語で授業を進めるために必要な表現を学ぶ。 ○英語で自己紹介ができる。 ○英語でクラスメートの紹介ができる。	○文法事項の解説と、演習による定着を図る。 ○間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。 ○ALT の指示に反応させる。 ○ペアワークやグループワークなどに取り組む。	○文法を理解できているか ○準備を怠ることなく授業に臨んでいるか。 ○授業に集中し、積極的に活動に参加しているか

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二学期	9 10 11 12	新高校英語入門 Unit10 Unit11 Unit12 Unit13 Unit14 中間考査 BIG DEPPER I Lesson1 Lesson2 期末考査	○基礎からの英文法の総復習を図る ○興味・関心のあることについて自分の考えを述べることができる。 ○過去形・現在形・未来を表す表現／現在完了／現在進行形／命令文 ○文型①／不定詞／動名詞 ○自分自身や身の回りの事柄を説明したりすることができる。	○文法事項の解説と、演習による定着を図る。 ○間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。 ○ALT の指示に反応させる。 ○ペアワークやグループワークなどに取り組む。 ○英単語のクイックレスポンス ○音読活動 ○ペアワークやグループワークなどに取り組む ○本文の暗唱 ○ALT の指示に反応させる。	○内容を理解できているか ○準備を怠ることなく授業に臨んでいるか。 ○授業に集中し、積極的に活動に参加しているか
三学期	1 2 3	Lesson3 Lesson4 学年末考査	○受動態／関係代名詞／文型② ○最上級／比較級／原級 ○次年度に向けての目標や抱負を発表することができる。	○英単語のクイックレスポンス ○音読活動 ○ペアワークやグループワークなどに取り組む ○本文の暗唱 ○ALT の指示に反応させる。	○内容を理解できているか ○準備を怠ることなく授業に臨んでいるか。 ○授業に集中し、積極的に活動に参加しているか

その他　（　履修上の留意点・大学等進学のための学習など　）

授業を集中して受け、提出物を期限内に出し、単語テストに合格することで、学力は必ず上がります。英語に対する苦手意識を克服できるよう、努力して頑張りましょう。みなさんの中から、将来、スポーツや音楽において世界で活躍する人が出てくるかも知れません。そんな時、英語は必ずあなたを助けてくれます。それはあなたかも知れません！